

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立湖東中学校）

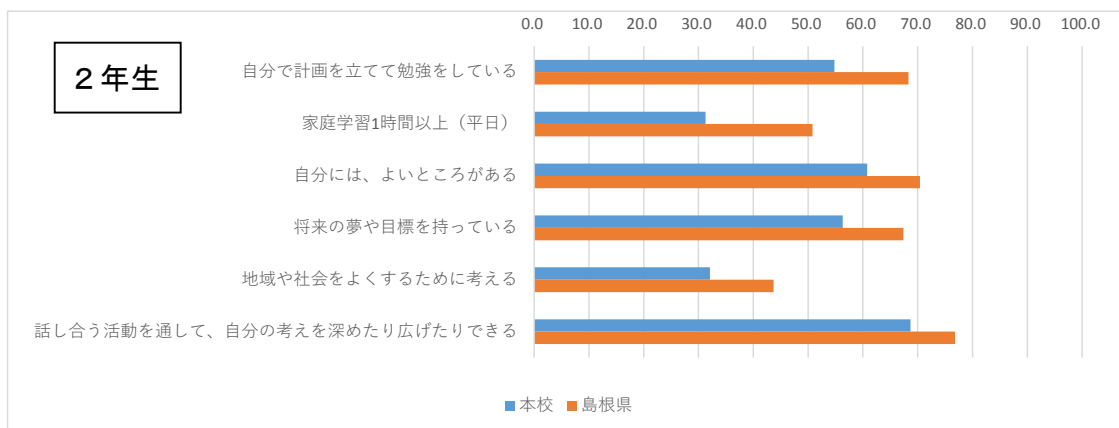
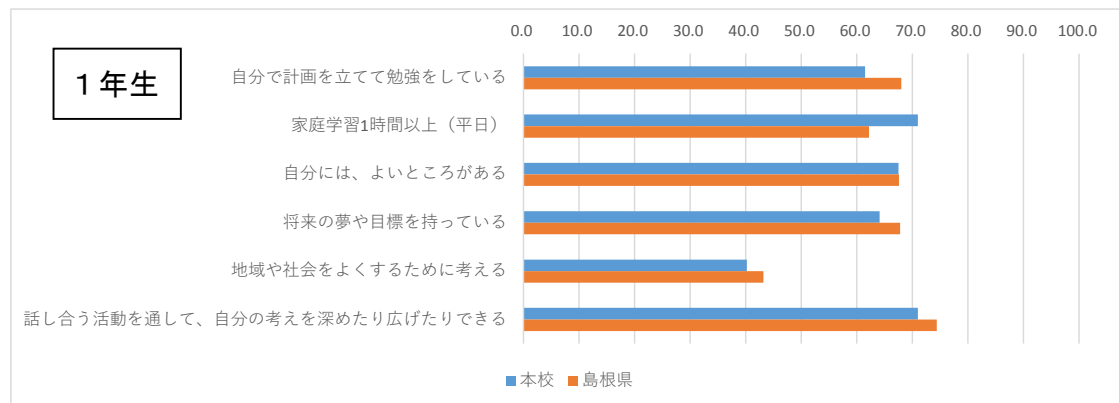
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○「話すこと・聞くこと」「漢字の読み書き」に関しては目標値に到達することができた。 ●「文章を書く」「文法・語句」に関する正答率が低いことから、語句の知識と文法の理解を身につけたうえで、様々な種類の作文に取り組む機会を増やす。	2 年 国 語	○「論理の展開に注意して話し手の考えを聞くこと」「説明的な文章の内容を読み取ること」は目標値に到達することができた。 ●漢字を書くことと、文章を読む際に「複数の情報を整理しながら内容を解釈すること」は課題である。
1 年 数 学	○毎時間、計算テストを実施しており、「正の数 負の数」の校内平均正答率は、目標点に近似していた。 ●校内平均正答率が、目標値を10%以上下回っているおり、基礎力の向上を目指す。	2 年 数 学	○「連立方程式の解を求める」「一次関数のグラフをかく」といった内容は、目標値に到達していた。 ●説明問題や他と関連付けて考える問題は目標値を大きく下回っており、基礎的な内容を活用して解く応用問題に対応することが苦手である。
1 年 英 語	○毎時間の反復練習を通して、単語や熟語、基本文型などの基礎的な知識・技能が比較的身につけている。 ●基礎的な力は身につけているものの、長文読解などでその力を活用することが苦手である。ある程度の長さの英文を定期的に読み解く機会を増やしていく。	2 年 英 語	○毎時間の反復練習や小テストを通して、受容語彙(聞いたり読んだりしたとき理解できる単語)は比較的身につけている。 ●発信語彙(話したり書いたりできる単語)が定着しきっておらず、英作文に課題がある。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○学校の出来事を家の人に話している割合は高く、夕食をきちんと食べているなど家族関係の良好さがうかがえる。 ●本を読んでいる生徒が少ない。この結果から、読解力などに課題があると考えられる。 ●睡眠時間が不足し、就寝時間が不規則になっている傾向が見られ、また、テレビの時間もかなり長く、自宅での勉強に集中できていない現状がある。	2 年	○家庭での挨拶がしっかりとできており、一緒に夕食を食べながら学校の出来事を話している様子がうかがわれる。保護者から認められているという意識も高い。 ●不規則な生活、睡眠時間と学習時間の少なさが顕著であり、学校や家庭での学習習慣が十分には身につけていないことを表している。
--------	--	--------	--

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 117名 2年生 112名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。